

ネットワークいわて

神楽ツアー第1弾 神楽の舞に大声援

神楽の里で知られる大迫町で、6月1日、2日の2日間、「神楽ツアー」が行われました。

これは、国の重要無形民俗文化財第1号指定のおまつくない岳と大償の両神楽を広く鑑賞してもらおうと今年初めて企画されたもの。

今回のツアーには、東京、神奈川など関東圏の人たち一行46人が参加しましたが、間近で見る男性的な大償神楽の舞に「素晴らしい」の声を連発し、感嘆することしきりでした。

早池峰神楽は、昨年、東京国立劇場で公演したほか、海外公演や盛岡でのAUNシリーズ公演なども重ね、その人気は絶大なもの。このツアーは9月にも行われる予定ですが、伝統芸能に着目した企画として、町おこしに大いにつながりそうです。



神楽の舞を鑑賞する神楽ツアーの一行
花巻地方振興局 ☎0198-23-7758

伝統産業の祭典・ 鋳物まつりが開催

水沢市恒例の「水沢いもの鋳物まつり」が、7月6日から8日の3日間にわたり、同市羽田町の水沢市伝統産業会館と東北新幹線水沢江刺駅前広場を会場に開催されました。

この鋳物まつりには、風鈴秀作展や水沢鋳物創作展など伝統の技を競う展示会が開かれました。さらに茶器や花器など、従来のイメージとは違う木と鋳物を組み合わせた新感覚の作品を展示する高級インテリア展が初めて開催されるなど、約500点の作品が出品されました。

磨き抜かれた伝統の技が、訪れた多くの市民を楽しませ、新たな製品開発の試みが注目を集めるとともに、伝統産業の一層の振興を目指し、大いに盛り上がりを見せました。



大勢の参加者でにぎわった鋳物まつり
水沢地方振興局 ☎0197-22-287

文学のまちづくり リレー講演始まる

透谷や藤村が訪れ、また多くの文学者を輩出している一関市で、7月7日、一関ゆかりの作家による「文学の蔵リレー講演会」の第1回講演会が開催されました。

この講演会は、明治時代の土蔵を「文学の蔵」として再建し、文学の蔵設立委員会が市民に文学への理解を深めてもらい、新しいまちづくりに役立てようと企画したものです。

講演では、作家の内海隆一郎氏、中津文彦氏が講師となり、新しいふるさとづくりへの提言などが語られ、一関文化センターに集まった約300人の市民は熱心に耳を傾けていました。

講演会はこれから11月まで4回開催されますので、皆さんも一度、聞いてみてはいかがでしょうか。



文学の蔵で開かれたリレー講演
一関地方振興局 ☎0191-23-2010

ロマンと気品満喫 三鉄のレトロ列車

第三セクター三陸鉄道株式会社のレトロイベント列車「おやお号」(二両編成)が、このほど南リアス線・盛～釜石間に初お目見えしました。

この「おやお号」は、横浜博覧会に使用した復古調のディーゼル車を県が購入し三陸鉄道に貸しているもの。ロマンと憧れにあふれた高級車両で、外観はクラシック感覚にあふれたレトロ調。内部は厚手のシートにシャンデリアという優雅さ。

平成4年に開催される「三陸海の博覧会」に使用されることも計画されているこの列車は、明治・大正のロマンを乗せて、三陸の海をバックに走ることになっています。今後、リゾート地気仙の観光誘客に大きく貢献するものと期待されています。



豪華な造りのレトロイベント列車
大船渡地方振興局 ☎0192-27-9911

遠野物語発刊80年 記念行事を開催!

柳田国男の「遠野物語」が発刊されてから、今年で80周年になります。これを記念して遠野では、各種の行事が行われました。

8月9日には、「道の日」の行事とのタイアップでシンセサイザーの姫神と郷土芸能の競演からなる「遠野姫神音がり」が開催されました。そして、8月25・26日には詩人吉本隆明を講師に招いて記念講演とシンポジウムが開催され、講師と一般参加者が一緒にバスで遠野物語に関係のある場所巡りもします。

また、今年の5月には遠野市街地が一望できる高台に、柳田国男の生前の家が東京都世田谷区成城から移築されるなど、柳田国男のかかわりはさらに深まっています。



遠野に移築された柳田国男の生前の家
遠野地方振興局 ☎01986-2-3111

地域経済に活力! 経営塾で発想転換

他の業種・業界を知り、経営の発想転換を図ってもらおうと、商工業経営者などを対象とした「宮古地区経営塾」が宮古地区広域商工業振興協議会の主催で開催されています。

昨年に続いて2回目のこの「塾」は、7月9日から9月17日までの毎週月曜日に行われ全10講座。「押し寄せる情報化の波」「宮古でリゾートは可能か?」などの講義に宮古短期大学の教授をはじめとした優秀な講師陣が熱弁を振っています。

商業や建設業などさまざまな業種から集まった30人の受講生は、自分の仕事に役立つ情報を少しでも得ようと熱心に勉強している最中。異業種の人との交流の場にもなっていて、宮古・下閉伊地域の経済界に新たな活力が生まれようとしています。



熱心に受講する商工業経営者たち
宮古地方振興局 ☎0193-64-2211